

2008年7月22日

---

**3次元建築設計の普及拡大を目指し、設計～施工までを網羅する次世代建築 CAD  
開発コードネーム「Aegis」<sup>イージス</sup>2009年夏発売**

---

福井コンピュータ株式会社

建築・測量・土木のトータル CAD メーカー、福井コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市、代表取締役社長：小林 眞）では、3次元建築設計のさらなる普及拡大を目的に、設計から施工までを網羅する BIM 対応の次世代建築 CAD「開発コードネーム：Aegis（以下 Aegis）」を 2009 年夏に発売します。

**動き出す 3次元専用 CAD による 3次元設計への潮流**

福井コンピュータでは、3次元建築設計システム「ARCHITREND Z」を核に、木造住宅市場を中心とした建築専用 CAD の普及・促進を積極的に展開し、建築専用 CAD ではトップシェアとなっています。（導入社数は、33,000社以上。）

ビル系建築設計市場においては、海外製品を中心とした 2次元汎用 CAD の導入が多く、導入コストや導入効果といった観点からも、専用 CAD の普及があまり進んでいなかったのが実情です。しかしながら、CALS/EC では 2次元データの互換（SXF データ）から、IFC モデルに代表される 3次元建物モデル共有へと、データ移行の流れが動き始めています。

また、ビル系建築設計においても、2次元汎用 CAD を中心とした 2次元設計から、3次元専用 CAD による 3次元設計へと建築設計業界での関心が移行しつつあります。

このような状況の中、日本の設計業務や、日本の設計フロー、日本の建築基準に対応した新しい 3次元建築専用 CAD が求められています。

**日本の建築は、日本の CAD が創る！日本から世界を目指す次世代建築 CAD システム**

Aegis は、基本設計から実施設計、生産設計など建築の設計から施工までを網羅し、世界共通の概念である BIM（Building Information Modeling の略称）対応を目的とした次世代建築 CAD システムです。

基本設計では、建築家が最適で最高の建築計画を行うための思考ツールであり、実施設計では整合された図面を素早く大量に作成するツールであり、生産設計では最も効率的に施工する





ためのシミュレーションツールであることを目指しています。

例えば、基本計画作業時には立地条件分析やスタディモデル作成を行いながら、ボリューム解析や面積チェック、各種建築法規チェックが可能となっており、大幅な作業時間短縮を実現します。

また、ひとつのモデルデータを、複数のファイルに分散させ、設計担当者ごとに作業を進めることが可能な「コラボレーション機能」も搭載し、複数人での設計作業が可能です。

CG作成や図面作成時には、関連ファイルを合成するだけで、成果データが完成。自動的に図面間の整合性が確保されることにより、設計作業の効率化とヒューマンエラーの防止、これら作業にかかる時間やコスト削減も実現します。

2009年の発売以降は、ゼネコンや建設会社の設計部、大規模設計事務所や組織設計事務所、アトリエ系設計事務所等を中心に、Aegisの販売展開を行っていく予定です。

また、日本国内での販売実績を踏まえ、海外での販売展開も計画していきます。

#### ■ 商品名称及び価格・発売日等について

- Aegisは、開発コードネームです。
- 正式な商品名称、商品構成及び価格構成、発売日等につきましては、改めてご案内させていただきます。

※文中のCG画像は、ARCHITREND Zで作成したAegisでの作成イメージです。

#### ● Aegisの販売に関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 MAプロモーション部 担当：小島不二宣・前田伸之  
Tel：03-3639-8002 東京都中央区日本橋小舟町7-2 ヤクシビル 4F

#### ● このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします。

福井コンピュータ株式会社 CADプロモーション部 担当：野坂寅輝  
Tel：0776-67-6210 福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6  
ホームページ：http://www.fukuicompu.co.jp/